

第485回 三水会便り

新型コロナウイルスによる感染拡大で騒然としています。三水会の例会・現地集会は、いまのところ通常通り続けることができていますが、日本山岳会から「コロナウイルス感染に関する古野会長通達」が出されました。それぞれができることを着実に実行しましょう。

古野会長通達 (2月27日) 概ね3/15までの間、開催を予定をしている大規模イベントにつきましては中止・延期の判断をお願いします。本部ルームや各支部での小規模イベント、会合について、実施する場合には、以下の点に留意願います。①発熱等の症状がある人に出席を控えるよう要請②咳エチケットの徹底や頻繁な手洗いなどの周知③アルコール消毒液を設置し、確実に実施④定期的な換気⑤相互接触の機会を減らす、対面での会話機会を極力減らすなど。

3～4月の予定

JAC 会員参加可 FREE

669 回例会 3月18日午後5時～ 於/日本山岳会集会室 講師/小嶋一男が語る「極北・未知への挑戦」

日本大学山岳部 OB。ヒマラヤをめざしたが、1965年に印パ戦争のあおりで、グリーンランドに目標を切り替えた。登山用の荷物を登山口まで搬送するため、犬ぞりの活用を決めた。その犬ぞり担当として本隊より早く、グリーンランドに入ったのが小嶋だった。68年、日大隊は日本人として初めてグリーンランド氷床の横断に成功。小嶋は犬ぞりの第一人者になっていた。やがて世界最大の犬ぞりレース、アラスカの「アイディタロッド国際犬ぞりレース」に7回出場した。そしてシベリアからグリーンランドまで約2万2,000kmの冒険に挑む。小嶋一男をそこまで駆り立てたものはなんだったのだろうか。



現地集会 3月22日(日) 入間加治丘陵

加治丘陵の美しさは、武蔵野の原風景でありコナラ、クヌギの類である。殊に早春は滴るばかりの緑萌え出る光景を呈する。標高 203.5m、関東平野の西にあたる。南北を霞川と入間川にはさまれた半島状の丘陵だ。集合/西武新宿線仏子駅 10:00◇コース/仏子駅 10:15→12:00 桜山展望台(昼食・歓談)14:00→15:00 仏子駅◇費用 500 円(保険料, 通信費等)◇懇親会/バーミヤン仏子店, 電話 04-2931-1055◇懇親会/約 3000 円, 5 時解散 懇親会のみ参加歓迎 係り/中村直樹

現地集会 4月26～28日(日～火)

葛城山・金剛山・百舌鳥古市古墳群

葛城山・金剛山に、いくつかのコースに分かれ登ったあと堺に移動、鉄砲鍛冶屋敷など歴史地区のほか大山古墳をはじめとする世界遺産百舌鳥古市古墳群や博物館などを見学◇26日(日)①大阪側から千早本道を金剛山へ。その後縦走して葛城山②奈良側から登山③ロープウェイ利用。宿泊/国民宿舎葛城高原ロッジ◇27日(月)①金剛山へ縦走し千早本道を下山②葛城山から竹内峠目指して縦走。峠から竹内街道を西の太子町へ下山③葛城山山頂付近散策後、徒歩・ロープウェイで奈良側へ下山。宿泊/くれたけイン南海堺駅前◇28日(火)堺の歴史地区・世界遺産百舌鳥古市古墳群を見学。係り/遠藤源太, 北口マリ子

2月の報告

現地集会 2月22日 東京を歩こう/富士塚に登る

3つの富士塚に登った。いずれも趣のある「頂」だった。最初は西新宿・成子天神にある「成子富士」=写真=。1920(大正 9)年に富士山の溶岩を運んで造られたとあり、比較的新しい。第2は渋谷千駄ヶ谷・鳩の森八幡神社の「鳩の森富士」。1789(寛政元)年の築造で現存する都内最古。最後は護国寺にある「音羽富士」。寺の境内にあるのは珍しくここだけという。1681年に五代將軍徳川綱吉が母桂昌院の願いによって創建した真言宗豊山派の総本山。途中、公園・外苑を歩き楽しんだ◇参加者 11名◇コース/新宿駅西口交番前 09:40→(青梅街道)→成子天神/鳴子富士(10:10～10:30)→大田道灌久遠の像(10:50)→都庁展望台(11:00～11:30)→代々木駅/各自昼食(12:10～12:50)→鳩森八幡神社/千駄ヶ谷富士(13:00～13:20)→国立競技場→明治神宮外苑(13:50～14:05)→(信濃町駅・有楽町線護国寺)→護国寺/音羽富士(14:40～15:30)



668 回例会/2月19日

福原健司作品「山男 芦嶺の人々」に感激

日本山岳会が秘蔵している映像を鑑賞

映像作家/福原健司が撮影した貴重なフィルムだった。1960年代の制作と思われる。山男を描ききっていた。立山の山麓/芦嶺に40近い宿坊がある。信仰ガイドが集団で住んでいた。「亡くなれば地獄に墮ちる。針の山に迫いやられる。救ってくださるのが阿弥陀如来さまだ」と立山に導いた。1000年余の間、ガイドは曼荼羅を手に全国を回った。山男と言おう。明治になってスポーツとしての登山が導入された。山男は先駆者とともに新しい山歩きを開拓した。1907(明治40)年、劔岳に三角点を設置する柴崎芳太郎に協力した。平蔵、源次郎、長次郎などの名を残した。遭難者の救助に活躍した。1923(大正12)年には榎有恒らが雪の松尾峠で遭難し板倉勝宜を失った。榎は「遭難したわれわれを裸になって温めてくれた」と回顧している。1958(昭和33)年、西堀栄三郎は南極越冬隊の協力者として5人の山男を連れて行った。持てる力・技術・素質の素晴らしさをいかんなく発揮した。黒部ダム建設が始まった。活躍したのは強力としての山男だ。富士山の強力と並び称される。「30貫を担ぎ上げないと一人前と認められない」といわれた。110kgだ。道は滑る。転んだら起き上がれない…。参加者14名



三水会便り 第485回 発行2020年3月1日
東京都千代田区四番町5-4 日本山岳会三水会
便り担当 北口マリ子, 山口延子, 文責/高橋重之